

Shift Up ed!

special event report

インターネット

at Shibuya WOMB
01.OCT.2001

photo:Shimojo Eiji

シフトアップ記



右から塚本慶一郎インプレスグループ代表、廣瀬禎彦アットホームジャパン株式会社代表取締役社長、河口洋一郎東京大学院情報学環教授、倉園佳三本誌編集長。



インターネット業界だけでなく、ビジネス、アート、アカデミーなど、各界から招いた来場者は総勢450人を越え、大盛況となった。

PARTY TIME

ト マ ガ ジ ャ

異文化の交流から生み出される新たなモノへの期待

激しい雨の吹きすさぶ東京渋谷は円山町のいかげわしいホテル街の一角、周辺の隠微な雰囲気とそぐわない一団がとあるビルに次々と吸い込まれていく……。そこがインターネットマガジンのシフトアップ記念イベントの会場「WOMB (ウーム “生み出す”の意)だ。週末には最先端のダンスミュージックに若者が酔いしれる東京を代表するクラブの1つである。

そもそもこのイベントは本誌が誌面で提供する、テクノロジー、ソサエティー、ビジネス、デザインという4つの視点をクロスオーバーさせる「複眼的な記事」というコンセプトをリアルの世界でも体現させるべく、弊誌に協力してもらっている各界著名人を招待して日頃顔をあわせることの少ない業界どうしの交流を図ってもらおうという趣旨のものだ。その根底にはそうした異文化の交流からこそ新しいものが生まれるし、これからのインターネットは、もっとリアルと密接でなければとの考えもある。

とはいえ、世の慣習も同様に大事にしたいので、弊社代表取締役の塚本慶一郎のあいさつに続きアットホームジャパン社長の廣瀬禎彦氏や日本を代表するCGア

ーティストであり東大教授でもある河口洋一郎氏から祝辞を頂戴した。これで僕らも勇気倍増である。しかし、イベントのメインは視点のクロスや融合を表現するショータイムにある。その筆頭は河口氏の演出による「KAWAGUCHI CG CIRCUS」。これは簡単に言えばダンスにあわせてCG画像が有機的に変化する革新的なショーだ。ダンサーの体に付けたウェアラブルコンピュータは、躍動する体の動きを検知し、瞬時に解析してCGで表現する。ダンサーには牧阿佐美バレエ団のプリンシパル逸見智彦氏やセクシーなダンスで人気急上昇のガールズユニット「GOLD FINGER」など一流どころを招いた。このショーの様子はストリーミングで生放送されたが右下のサイトでも再放送している。ぜひ次頁の写真とあわせて体感してほしい。なお、当イベントには右の5社のご協力をいただいた。この場を借りてお礼申し上げたい。

今後は読者も参加できるかたちで、こうした視点のクロスオーバーや異文化の交流を体現する場を提供したい。ぜひ、本誌の「新たな価値の創出」への挑戦を応援していただければ幸いである。



CABLE & WIRELESS
IDC



So-net

Panasonic

hi-ho

network for me.



インターネット・プロバイダ [ぷらら]
www.plala.or.jp

impress.tv/index.htm?im/article/inm.htm

念 イ ベ ャ ト



ShiftUp

ネ ッ ト マ ガ ジ ン



DJタイムを盛り上げてくれたのは有名DJ、MINORU NISHIKAWAさん



DJ TIME



会場では鹿児島の小正醸造株式会社提供による高級焼酎“紫金色”が振る舞われた。

念 イ ベ ン ト



ラウンジで“リラックスできる”DJプレイを披露してくれたのは本誌の筆者でもある山科拓さん。



会場を盛り上げてくれた河口教授門下の東大生3人組。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp